

**製品名: LOX (2U4) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe13374**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	47kDa

**抗原情報**

遺伝子名	LOX
別名	lox; LYOX; Lysyl oxidase; Protein lysine 6 oxidase;
遺伝子 ID	4015.0
SwissProt ID	P28300
免疫原	ヒト LOX の合成ペプチド

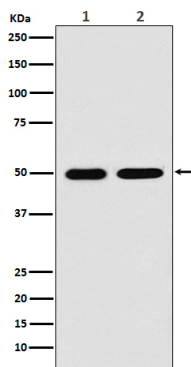
**背景**

線維性コラーゲンおよびエラスチンの前駆体におけるペプチジルリジン残基の翻訳後酸化脱アミノ化を担う。細胞外マトリックスタンパク質の架橋に加え、腫瘍抑制に直接的な役割を果たす可能性がある。線維性コラーゲンおよびエラスチンの前駆体におけるペプチジルリジン残基の翻訳後酸化脱アミノ化を担う (PubMed:26838787)。Ras 発現の調節因子。腫瘍抑制に関与する可能性がある。大動脈壁構造にも関与する (相同性による)。

## 研究分野

-

## 画像データ



(1) Jurkat 細胞溶解物、(2) マウス脳溶解物における LOX 発現のウエスタンブロット解析。